

令和6年度 施設としての自己評価

ミキネ おひさまの森保育園

平素はミキネおひさまの森保育園の運営にご理解ご協力いただきまして、ありがとうございます。
以下の通り、園の自己評価を付けました。今後一層より良い園になるよう職員一同努力してまいります。

【1】どちらかというのできていなかった 【2】どちらかというのできていた 【3】ほぼできていた 【4】よくできていた

年目標	自己評価	内容
●保育内容(今年度の重点)		
・愛着についての理解と愛着形成の実践	3	年度初めに「愛着」「愛着形成」について学びの場を設け、知識や理解を深めた。また特定の保育者が欲求を繰り返し受け止めていったことで人への信頼感が育まれ、日々を安心して過ごすことに繋がった。
愛着についての理解を深め、年齢や個々に合わせた愛着形成を実践していく		
・子どもの意欲を伸ばす声掛けの検討と実践	3	子どもの「やってみたい」という思いを大切に、個の意欲や興味に合わせた言葉かけを行い、都度、職員間で共有した。振り返りと実践を繰り返し、意欲を伸ばす声掛けに努めた。
子どもの主体性を大切に発達に合わせた適切な声掛けを行っていく		
●施設設備		
・保育室環境について	3	玩具や物の配置など歳児ごとの特性や育ちを考え職員全員で話し合い変化させていった。また保育室の床の改修工事や柵の設置等を行い、より安心安全な環境を整えた。
発達や子どもの育ちに適した安全で快適な保育環境を整えていく		
・園周辺環境の活用について	3	駅周辺や商店街などへの散歩や神社への初詣などを通して季節の移り変わりを感じる機会を作った。電車やバス、パトカーなどの乗り物を目にする機会も多く子どもの興味、関心を広げるきっかけに繋がった。
地域の特性や環境を理解し、保育に取り入れ活かしていく		
●保健・衛生		
・感染症対策について	4	日々、園児の検温、ご家族を含めた体調確認を行い、感染症発生時には感染状況や必要な情報を掲示及びメールで配信した。手指、玩具、保育室内の消毒、換気を行い感染拡大防止に努めた。
感染症への学びを深め、感染予防や感染症拡大防止に努めていく		
●運営		
・行事のありかたについて	3	行事の意味、意図を園全体で考え、行事を通して日々の姿からの成長をお伝えし、子どもと保護者、職員が繋がる日となるよう努めた。
行事を通して成長を実感し、今後の育ちの見通しが持てるようにする		
・保護者との連携体制について	3	毎日の連絡帳や口頭でのやりとりから保護者の想いを聴き、必要な援助を考えていった。「ともに子どもを育てる」理解が深まり良い関係性の構築に繋がった。
家庭の生活状況や考え方の理解を深め、共に子どもを育てる関係性を育む		
・危機管理について	2	日々の戸締り確認や訪問者の確認の徹底。事故発生時の対応・心肺蘇生法など万が一の事態に備えて職員間で研修を実施した。また毎月の避難訓練で役割の意識を高めることができた。
防犯や災害を想定した訓練を行い、職員全員が対応できるようにする		

【総評】

平素より、園の運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
本年度は、個々の想いを尊重し子どもたちの声に耳を傾け、主体性を持ち生活できるように考えました。
また日々子どもたちの育ちを保護者の皆様と共有し、一緒に成長を見守りながら、想いを通わせ保育の質の向上に努めて参りました。
今後も、この園を選んでよかったと思っていただけよう、一層尽力してまいります。
今後とも、よろしく願いたします。

令和7年3月1日
園長 紅林ゆかり